

「セクシー」に関する
現代女性の意識調査

昭和57年2月

株式会社 ワコール

「セクシー」に関する現代女性の意識調査《目次》

調査企画	1
調査結果の要約	2
調査結果の内容	6
I 現代女性の生活周辺	6
1.友人の数は平均「12.0人」。けれども年ごとに減って	6
2.4人に3人が異性の友人あり。平均「3.6人」	7
3.恋は現在も「1人だけを一途に思い続ける」(39.7%)が主	8
4.<冒険をすることも時には必要だと思う>…「はい」が94.3%	9
5.冒険だけどやってみたいのは「ひとり旅」	11
6.精神生活で大切にしたいのは「心の広さ」(46.3%)	12
II 現在、セクシーとは	14
1.『セクシー』のイメージは「女らしさと色気」	14
2.3人に2人はセクシーな要素が「必要」	14
3.半数強は『セクシーだ』といわれたら「うれしい」	15
4.『セクシーだ』といわれたことがあるのは、半数弱	16
5.自分のセクシーさは	18
6.『セクシー』という言葉を目にする機会	19
7.『セクシーな女性』の条件	21
8.<軽やかで行動的、力まないで現代を泳いでいく>(31.7%)のがセクシー	23
9.セクシーな装いは<胸の大きくあいたイブニングドレス>	24
10.下着もものによってはセクシー	25
11.持っているセクシーな下着	26
III カラーと下着	28
1.色のイメージ	28
2.下着のカラー	31
3.半数強はカラーの下着をワードローブに「加えてみたい」	33
4.印象に残っている下着シーン	34
IV 現在、セクシーな人は	35

調 査 企 画

調査目的 現代女性をとりまく環境・意識はかなり変化し、嗜好から価値観まで、ライト化して来ているといわれます。そこで、その実態はどうなっているのか、また、その中で、「セクシー」も従来のイメージとは変わって来ているのか、接し方はどうなっているのかなど、時代の変化の中での「セクシー」に対する意識と実態を探ることを本調査の目的といたしました。

調査対象 東京23区内に居住する18歳～35歳の女性

及びサンプル数 300サンプル(有効回収サンプル)

調査方法 調査票を配布し、本人が記入の後回収する留置法を採用

調査実施期間 昭和56年11月27日～12月7日

対象者属性

① 年 令

② 未既婚

		サ ン プ ル 数	18 歳	21 歳	24 歳	27 歳	30 歳	33 歳	未 婚	既 婚
全 体		300 100.0	77 25.7	80 26.7	50 16.7	22 7.3	33 11.0	38 12.7	201 67.0	99 33.0
年 令 別	18～23歳	157 100.0	77 49.0	80 51.0	0 —	0 —	0 —	0 —	153 97.5	4 2.5
	24～29歳	72 100.0	0 —	0 —	50 69.4	22 30.6	0 —	0 —	42 58.3	30 41.7
	30～35歳	71 100.0	0 —	0 —	0 —	0 —	33 46.5	38 53.5	6 8.5	65 91.5

③ 職 業

		サ ン プ ル 数	常 勤		自 営 業 ・ 自 由 業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	そ の 他	無 職		
			事 務 ・ 専 門	販 売 ・ 労 務 ・ サ ー ビ ス				主 婦 専 業	学 生	無 職
全 体		300 100.0	100 33.3	14 4.7	6 2.0	35 11.7	1 0.3	51 17.0	92 30.7	1 0.3
年 令 別	18～23歳	157 100.0	52 33.1	5 3.2	1 0.6	5 3.2	1 0.6	1 0.6	92 58.6	0 —
	24～29歳	72 100.0	43 59.7	6 8.3	2 2.8	10 13.9	0 —	11 15.3	0 —	0 —
	30～35歳	71 100.0	5 7.0	3 4.2	3 4.2	20 28.2	0 —	39 54.9	0 —	1 1.4

調査結果の要約

I 現代女性の生活周辺

- 現在、友人といえる人は「6～10人」（24.3%）から「16～20人」（21.3%）で、平均は「12.0人」。若いうちは多いが年とともに減って来る。
- 異性の友人が「いる」人は“全体”の76.3%、平均「3.6人」。“既婚”の人も6割は異性の友人ありで、平均人数は「1.6人」。
- これまでの恋のタイプは、「1人だけを一途に思い続ける」（39.7%）、「好きでもなかなかそれを表現出来ない」（35.3%）だったという人が多く、恋については、現代も古風。
- 生活信条や価値観で、賛意度が高いのは……
 - <冒険することも時には必要だと思う>（「はい」……93.4%）
 - <人間は良識・道徳は守らなければならない>（「はい」……93.7%）そして、8割以上が、YESといているのが、
 - <仕事（家庭）の他にもっと打ち込めるものがほしい>（「はい」……86.0%）
 - <ダイエットするより、おいしいものを食べた方がよい>（「はい」……80.7%）7割強賛成は、
 - <1人であるより友人とワイワイやっている方が好き>（「はい」……73.0%）
 - <物をもつより知識や経験のためにお金を使いたい>（「はい」……70.3%）賛否二派に分れたのは、
 - <勤勉であるよりも毎日を楽しんで生きてほうがよい>（「はい」……58.0%）
 - <みんながしていること、持っているものはさげたい>（「はい」……48.0%）
 - <美しい肉体を保つのは人間としての義務>（「はい」……47.7%）そして、反対する人の方が圧倒的に多いのが、
 - <お金をためてから買うより買ってから払うほうがよい>（「はい」……21.0%）
 - <仕事イコール生きがいであるべき>（「はい」……28.0%）
- 賛成する人が多かった<冒険>、ちょっと冒険だけどやってみたいことは……
 - 「旅行」「スポーツ」「ファッション」。具体的には
 - ひとり旅（20名）
 - テニス（10名）

- 海外旅行（9名）
- 人がびっくりしてふり返るような格好をしたい（6名）

など。

○現在、精神生活で大切にしたいのは……

1. 心の広さ 46.3%
2. 忍耐力 28.7%
3. 安定性 26.7%
4. 感受性 26.3%
5. センス・協調性・意欲 各24.0%

Ⅱ 現在、セクシーとは……

○「セクシー」という言葉からまず思い浮べるのは

1. 女らしさと色気（35名）
2. 大人の女性（20名）
3. マリリン・モンロー（18名）

がベスト3。

- 一般的に、人間にはセクシーな要素が、「絶対に必要」と考えている人は13.7%、「まあ必要」が50.0%で、3人に2人は必要派。「どちらともいえない」が25.7%で、「あまり」（9.3%）、「まったく」（1.3%）の不必要派は1割程度。
- もし、『セクシーだ』といわれたら、「とてもうれしい」人は19.3%、「まあうれしい」が32.3%で、両者を合わせ半数強をしめる。「そうかなと思うだけ」が42.0%で、「やや不愉快」（4.0%）、「とても不愉快」（1.7%）はごく少数。
- 実際に『セクシーだ』といわれたことがある人は、45.7%。
内訳は、「よくある」が4.3%、「何度かある」（28.3%）、「1度だけある」（13.0%）。
そういった相手は「男性」83.9%、「女性」51.1%で、35.0%は男性・女性両方から言われている。
- いわれた人は半数近いのに、自分をセクシーだと思っている人は4人に1人弱。
さらに、ほとんどは「いくらかはセクシーだと思う」（17.7%）止まりで、「まあセクシーな方だと思う」が2.3%、「かなりセクシーだと思う」は4.3%。

自分のセクシーなところ・時は、「ちょっとしたしぐさ(異性に対して)」(5名)、「湯あがり」(4名)、「おしり」(2名)など。

○64.0%の人は、近ごろ『セクシー』という言葉を目にする機会が「増えたと思う」と感じている。そして、それは「好ましい」ことと思っている人が72.4%をしめる。

○『セクシーな女性』とは、どんな感じの人、どんなものを備えた人なのか……、高率だったのは、

- | | |
|------------|-------|
| 1. 表情のある目 | 43.7% |
| 2. 細いウエスト | 43.3% |
| 3. 上がったヒップ | 35.7% |

○生き方からいえば、「軽やかで行動的、力まないで現代を泳いでいく女性」(31.7%)が最もセクシーとか。次いで、「自分の好きな事、好きなもののためにひたむきに生きる女性」(26.7%)。

○セクシーだと思う装いは、1に〈胸の大きくあいたイブニングドレス〉、そして〈ボタンを3つはずしたシャツドレス〉、〈ハイレグカットの水着〉。

ところが、〈テニスウェア〉は「セクシーではない」という人が72.3%、男性の見方とはかなり違っていそう。

〈ノーブラ〉もセクシー度はあまり高くない。

○下着も「デザインによってはセクシー」(65.7%)と考えている人が多い。「色によっては……」は34.0%、「材質によっては……」(29.0%)。「下着はどれもセクシー」という人は、4.0%で、「あまり関係がない」は25.0%。

○セクシーだと思う下着を「持っている」人は23.0%。レースが沢山ついたもの、シースルーのもの、黒い下着など。

これらは、「なんとなく衝動買い」(37.7%)したり、「プレゼントされて」(27.5%)手に入れたもの。

ところが、「よく身につける」(15.9%)人は少なく、「時々」(31.9%)か、「たまに」(39.1%)程度。「まったく身につけたことがない」人も13.0%。

Ⅲ カラーと下着

○カラーのイメージを聞くと、

可愛いのは

1. ピンク (77.7%)
2. 水色 (39.0%)
3. 白 (25.0%)

夢のある色は

1. ピンク (40.0%)
2. 水色 (36.7%)

冒険的な色は

1. 黒 (44.3%)
2. 紫 (38.7%)
3. 赤 (38.3%)

粹な色は

1. 黒 (19.3%)
2. 藤色 (17.0%)

セクシーな色は

1. 黒 (47.7%)
2. 紫 (28.7%)

○持っている下着の色は、「白」(73.7%)を押えて、「ベージュ」(84.3%)がトップ。他には「ピンク」(52.7%)、「水色」(37.3%)、「オフホワイト」(26.3%)など。

○着てみたい下着の色は、4人に1人が「黒」(24.0%)、後は、「白」(14.7%)、「ピンク」(14.3%)、「水色」(14.3%)、「ベージュ」(14.0%)など。

○カラーの下着をワードローブに「ぜひ加えたいと思う」人は12.3%、「加えたいと、かなり思う」(8.7%)、「——、いくらかは思う」(34.7%)を合わせ、加えたい人が半数強。

「加えたいとまったく思わない」のは10.0%。

○映画やTVドラマの中で、下着姿が印象に残っているシーンは、

- “風と共に去りぬ”のビビアン・リーがコルセットをしめるところ(4名)
- “エーゲ海に捧ぐ”(3名)
- “四季・奈津子”(3名)
- “潮騒”(3名)

Ⅳ 現在、セクシーな人は……

有名人やタレントの中から

○男性は

1. 沢田研二 (57名)
2. 郷ひろみ (20名)
3. 藤竜也 (11名)

○女性は

1. 松坂慶子 (18名)
2. ファラ・フォーセット (13名)
3. 多岐川裕美 (12名)

がベスト3。

調査結果の内容

I 現代女性の生活周辺

1 友人の数は平均「12.0人」。けれども年ごとに減って……

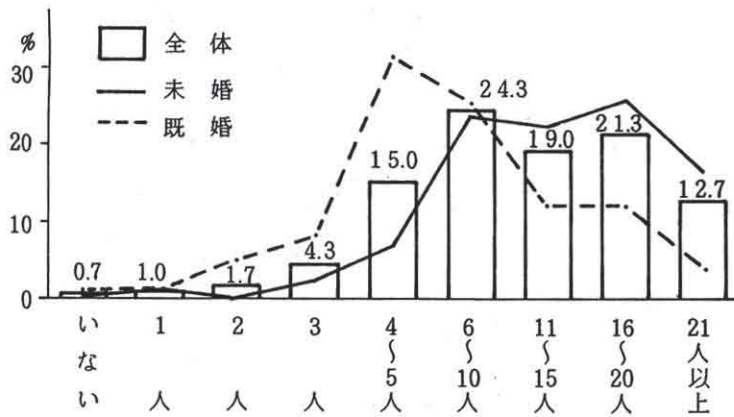


図1-友人の数

		平均人数
全 体		12.0人
年 令 別	18～23歳	14.3人
	24～29歳	11.3人
	30～35歳	7.8人
未 既 婚 別	未 婚	13.8人
	既 婚	8.5人

表1-友人の数(平均)

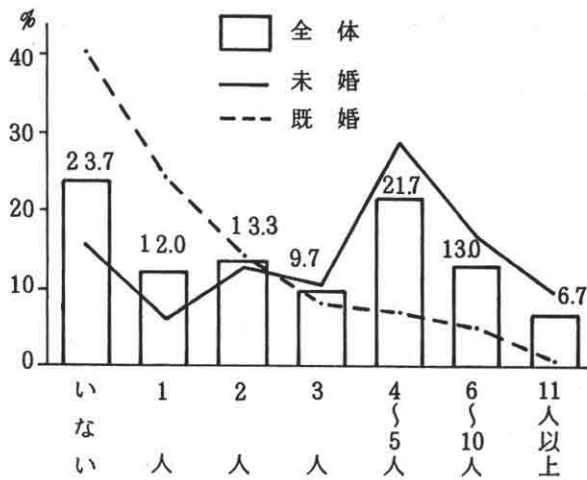
現在、友人といえる人は何人かを聞いたところ、「6～10人」(24.3%)が最も多く、
「16～20人」(21.3%)、「11～15人」(19.0%)という人も多い。5人以下し
かない人は2割ほどで、全般に友人の数はかなり多いといえるだろう。但し、「既婚」
の場合は「4～5人」(31.3%)が中心。

平均人数は、「全体」が「12.0人」。年齢が上になると友人は少なくなり、30歳頃
から10人を切るようになる。

結婚すると、やはり女性は外とのつながりが薄れるのか、「未婚」(13.8人)から「既
婚」(8.5人)になると、平均5人強も友人が少なくなる。

職業別では、「学生」が最も多く、平均「15.6人」、「常勤」が「12.2人」で「専
業主婦」(8.1人)と比べ、社会に出ている人の方が友人の数は多い。

2 4人に3人が異性の友人あり。平均「3.6人」



		平均人数
全 体		3.6人
年 令 別	18～23歳	4.7人
	24～29歳	3.4人
	30～35歳	1.1人
未 既 婚 別	未 婚	4.5人
	既 婚	1.6人

表2-異性の友人の数(平均)

図2-異性の友人の数

では、恋人を含んで、異性の友人は何人いるのだろうか。

ここで「いない」は23.7%で、4人に3人は異性の友人を持っていることになる。

「4～5人」(21.7%)ありという人が最も多く、特に“未婚”では「4～5人」(28.9%)に集中している。

“既婚”には、「いない」が40.4%も見られるが、逆にいえば異性の友人を持つ既婚者が6割いる訳で、これはかなり高い率といえるだろう。但し人数は「1人」(24.2%)か「2人」(14.1%)が中心。

異性の友人の平均人数は“全体”が「3.6人」。ここでも年令が上るにつれ友人数は減ってくる。

また、“未婚”ならば「4.5人」いるのが、“既婚”は「1.6人」に減る。

職業別で最も多いのは、やはり“学生”(5.4人)。“常勤”は平均「3.7人」だが、「いない」(10.5%)という人は学生よりも少ない。“専業主婦”は「いない」が52.9%。平均人数は「1.2人」。

3. 恋は現在も「1人だけを一途に思い続ける」(39.7%)が主

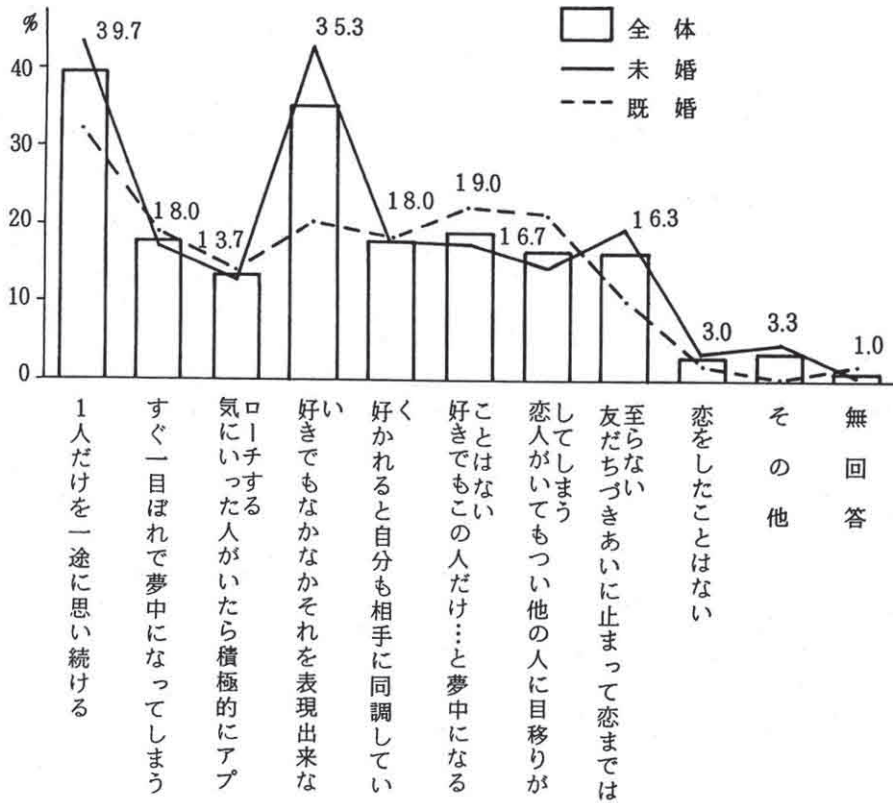


図3 - これまでの恋のタイプ

派、積極派、目移り派、クール派、受身型などはいずれも2割未満。しかし、「恋をしたことがない」人は3.0%とさすがに少ない。年齢が若い人ほど、また“未婚”の場合は「1人だけを一途に思い続ける」「好きでもなかなかそれを表現出来ない」がより多い。しかし年齢が上になるにつれ、それらをあげる人は減り、“30～35歳”になると「好きでもこの人だけ……と夢中になることはない」(22.5%)や「恋人がいてもつい他の人に目移りがしてしまう」(21.1%)と同程度近くなってしまふ。

未既婚別で、“未婚”に比べ“既婚”はさすがに「好きでもなかなかそれを表現出来ない」(20.2%)という人は少ないが、昔の情熱を忘れてしまったのか、全般にクールである。

これまでどんな恋をして来たのか以前のものも含めて主なタイプをあげてもらった。最も多かったのは、「1人だけを一途に思い続ける」(39.7%)で、続く「好きでもなかなかそれを表現出来ない」(35.3%)と共に、現代も恋は純情で古風なものだということを示している。

その他の瞬間熱中

4. <冒険をすることも時には必要だと思う>……「はい」が94.3%

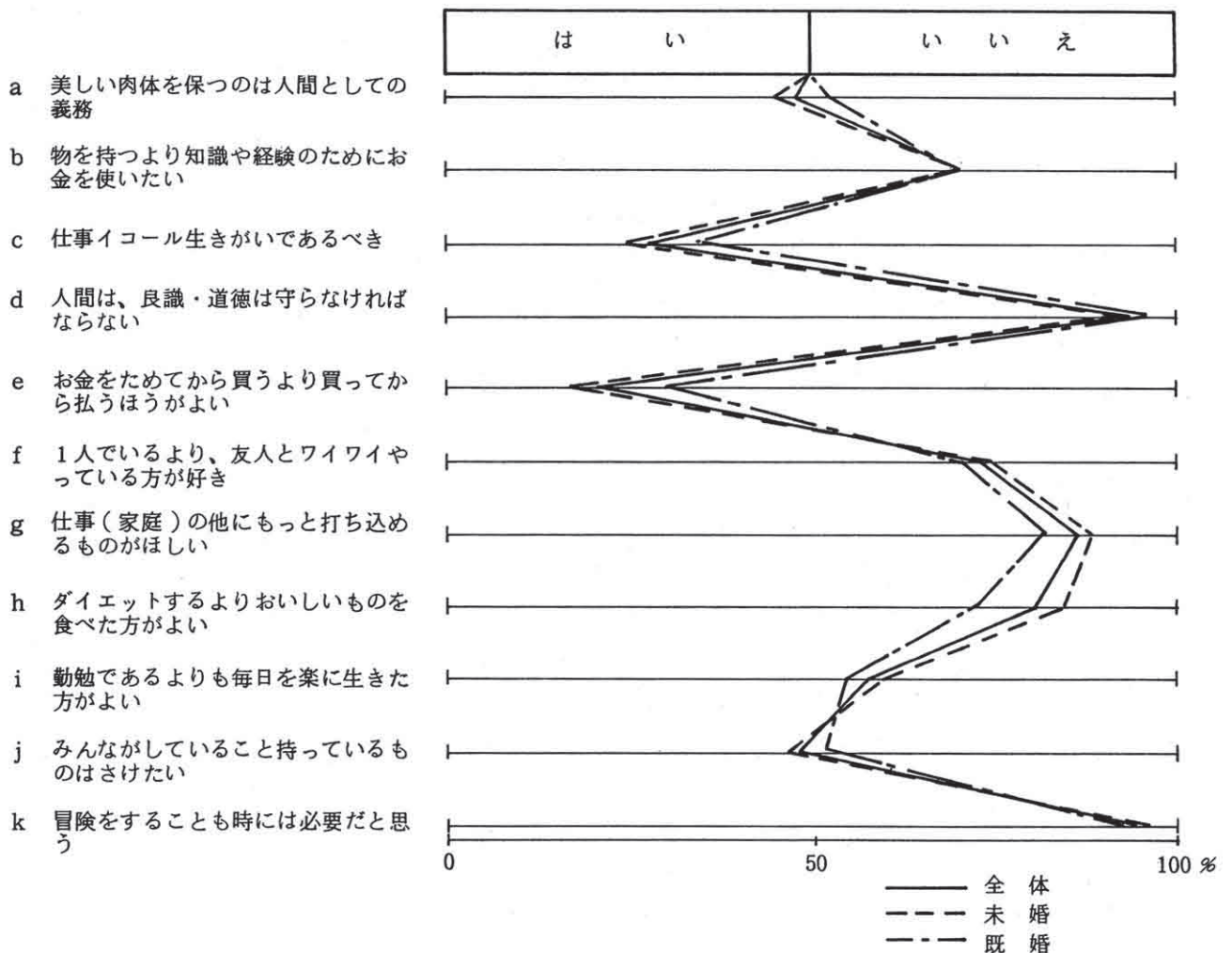


図4 - 生活信条・価値観への賛否

生活信条や価値観についての様々な意見に対する賛否を聞いてみた。賛成する人が多いのは、まず、

<冒険をすることも時には必要だと思う>(「はい」……94.3%)だが、

<人間は良識・道徳は守らなければならない>も93.7%と高く、一般に思われているほど反社会的な考え方をする人は多くないようだ。

続いて、8割以上の方が賛成しているのが、

<仕事(家庭)の他にもっと打ち込めるものがほしい>(「はい」……86.0%)

<ダイエットするよりおいしいものを食べた方がよい>(「はい」……80.7%)

後者は、〈美しい肉体を保つのは人間としての義務〉の「はい」(47.7%)が半数を割っていることも考え合わせ、女性がプロポーションより食べ物に弱いことを表明しているものといえよう。

〈1人であるより友人とワイワイやっている方が好き〉(「はい」……73.0%)

〈物を持つより知識や経験のためにお金を使いたい〉(「はい」……70.3%)

も7割強が賛成し、孤独嫌いと物離れの現代人の特徴をのぞかせている。

賛否両論二派に分れるのは、

〈勤勉であるよりも毎日楽に生きた方がよい〉(「はい」……58.0%)

〈みんながしていること持っているものはさげたい〉(「はい」……48.0%)

〈美しい肉体を保つのは人間としての義務〉(「はい」……47.7%)

そして、反対する人の方が多いのは、

〈お金をためてから買うより買ってから払うほうがよい〉(「はい」……21.0%)

〈仕事イコール生きがいであるべき〉(「はい」……28.0%)

年齢別で見ても全体的な傾向は変わらないが、多少率の違うものとして、年齢が上になるほど賛成者が多いのは、

〈美しい肉体を保つのは人間としての義務〉。これは、“30～35歳”で「はい」が57.7%に増えている。また、〈仕事イコール生きがいであるべき〉も、“30～35歳”(38.0%)のみは4割近い。

反対に、若い人ほど「はい」が多い項目は、〈1人であるより、友人とワイワイやっている方が好き〉〈仕事(家庭)の他にもっと打ち込めるものがほしい〉〈ダイエットするよりおいしいものを食べた方がよい〉〈冒険をすることも時には必要だと思う〉などで、現状では満たされず何かを模索しながら、自分にはちょっと甘いヤング像が浮かび上ってくる。

未既婚別で見ても年齢別とほぼ同じ傾向で、“未婚”者に「はい」が多いのが、〈仕事(家庭)の他にもっと打ち込めるものがほしい〉〈ダイエットするよりおいしいものを食べた方がよい〉など。“既婚”の方が多いのは、〈仕事イコール生きがいであるべきだ〉〈お金をためてから買うより買ってから払うほうがよい〉など。

5. 冒険だけどやってみたいのは「ひとり旅」

10人中9人以上が「冒険をすることも時には必要だと思う」と考えているが、では、ちょっと冒険だけれどもやってみたいな……と思うのは、どんな事だろうか。

自由に記入してもらったところ最も多かったのは、「旅行」(57名)。中でも「ひとり旅」(20名)にあこがれる人が多い。もちろん「海外旅行」も。

次いで、「スポーツ」(48名)をあげる人が多く、やはり「テニス」「スキー」「スケート」に人気がある。このへんは冒険とはいえないようだが、「ハングライダー」(3名)、「飛行機の操縦」(2名)、「カーレース」となればやはり冒険か。

「ファッション」については、変身願望が強い。つい無雑なものになってしまいがちな日頃のおしゃれから、もう一歩踏み出したいというところ。

趣味としては「ジャズダンス」(5名)の人气が高い。

音楽や演劇あるいは語学などに打ちこんで、職業にしたいと思っている人もいる。

表3 - 冒険だけどやってみたいこと

1. 旅行	57名
ひとり旅(20)	
海外旅行(9)	
海外へひとり旅(7) 他	
2. スポーツ	48名
テニス(10)	
スキー(7)	
スケート(5) 他	
3. ファッション	27名
人がびっくりしてふり返るような格好をしたい(6)	
雑誌に出てくるような服を買って着てみたい(3)	
有名デザイナー・スタイリストの方に魅力をひき出してもらって、変身してみたい(3) 他	
4. 趣味	19名
ジャズダンス(5)	
サークルを作って演劇の公演(3)	
ロックバンドのボーカル 他	
5. 仕事	16名
転職(3)	
音楽で芸能界進出(2)	
北の湖の付き人 他	
6. 勉強	4名
海外で語学の勉強	
もう1度大学で別の専門を勉強 他	
7. その他	30名
一人暮らし(4)	
家を出ること(2)	
痴漢にあってどなりつけてやること(2)	
アントニオ猪木とタッグを組んでリングであばれたい	
ハダカで街をまわる 他	

()内は同回答の人数

ここにあげられていたものは、全般に冒険というよりは、決意すれば実現出来ることが多い。実際にそれらを試み、楽しんでいる人も現実にはかなりいることだろう。

志をたてて実現するには、「一人暮らし」あるいは「家を出る」ことも必要かも知れない。

6. 精神生活で大切にしたいのは「心の広さ」(46.3%)

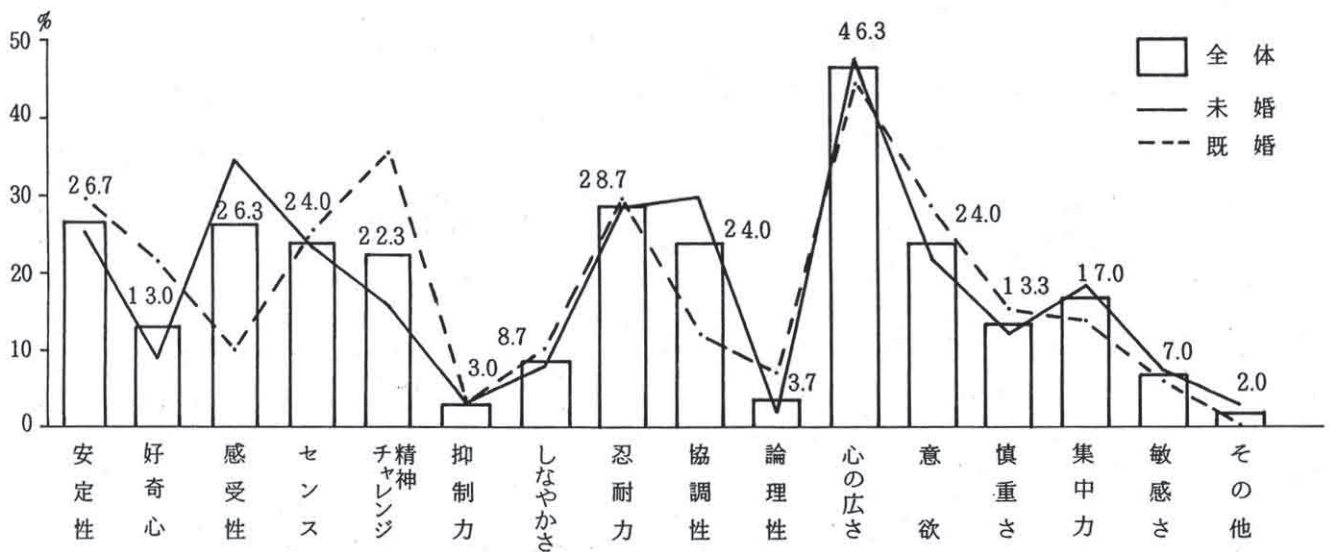


図5 - 精神生活面で大切にしたいこと

現在、女性が精神生活で大切にしたいと思うのは、

まず、 1. 心の広さ 46.3%

これには偏見のなさ、許容量の豊かさなどの意味あいも含まれていよう。

そして、 2. 忍耐力 28.7%

3. 安定性 26.7%

4. 感受性 26.3%

5. センス・協調性・意欲 各24.0%

が同程度で並らぶ。

比較的安定・保守志向だが、「感受性」「センス」「意欲」を重視するのは、現在の女性ならではの結果だろう。

未既婚別で見ても、トップはともに「心の広さ」。しかし2位は“未婚”が「感受性」(34.3%)、“既婚”が「チャレンジ精神」(35.4%)で、かなりの違いがある。また、“未婚”は「協調性」(29.9%)なども高く、社会に適応しようとする姿勢がうかがえる。それに対して、“既婚”は「意欲」(28.3%)も高く、何でもやってやろうという意気ごみを大切にしたいと考えているようだ。

年齢別でも未既婚別に準じた傾向で、若い人ほど高率なのは「感受性」「協調性」「集中力」など。年齢が上になるほど高くなるのは、「チャレンジ精神」「意欲」。“30～35歳”は「安定性」(32.4%)、「好奇心」(21.2%)も高い。

Ⅱ 現在、セクシーとは ………

1 『セクシー』のイメージは「女らしさと色気」

『セクシー』という言葉からまず何を思い浮かべるか自由に記入してもらった。

まず多かったのは「女らしさと色気」(35名)、他に「色っぽい女」(17名)という答もかなりあり、セクシー＝色気というのが一般的にとらえ方の様だ。

また、セクシーを女性に結びつけている答が多いが、男性のセクシーさを連想している人も少なくない。これはここ数年の意識の変化が表われているのだろう。

セクシーをもっと広い意味で

「味のある人」

「頭のきれいな人」

「センスの良さ」ととらえている人もいる。

マイナスイメージでは

「油ぎった汚なさ」

「男からだまされる頭の悪い女」

「少し乱れた装い、だらしなさ」など。

1	女らしさと色気	35
2	大人の女性	20
3	マリリン・モンロー	18
4	色っぽい女	17
5	魅力	8
5	足	8
7	女性の肢体・表情	7
8	おんな	6
9	ロッド・スチュアート	5
10	少しかげりのある男くさ	
	さの漂う大人の男性	4
"	沢田研二(ジュリー)	4

表4-「セクシー」から連想するもののベスト10(数字は同回答数)

2 3人に2人はセクシーな要素が「必要」

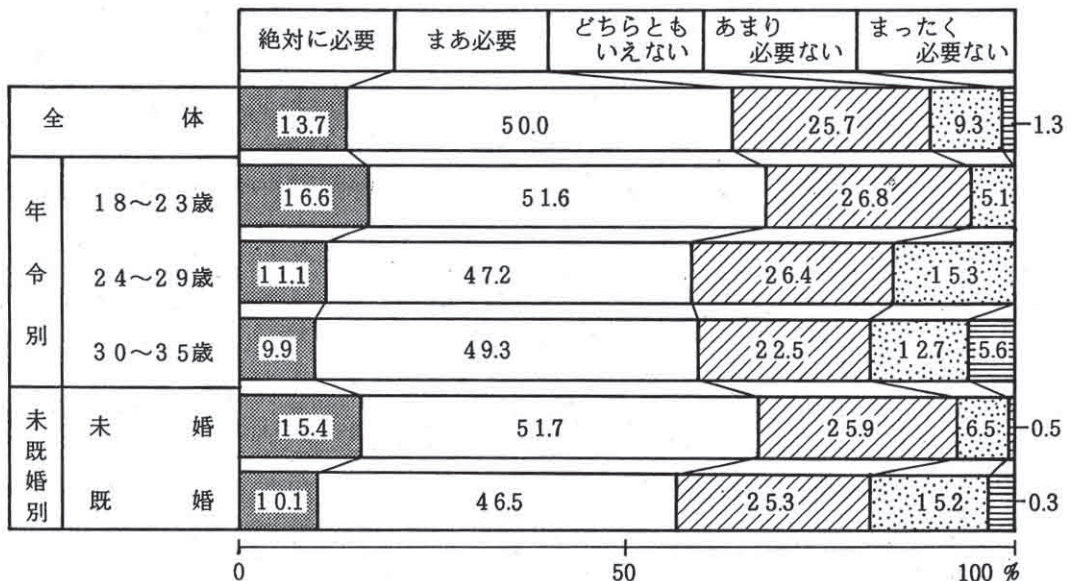


図6-セクシーな要素の必要度

一般的に人間にはセクシーな要素が必要だと思うかと聞いたところ、「絶対に必要」が13.7%、「まあ必要」が50.0%で、3人に2人は必要と考えていることが分った。「どちらともいえない」が25.7%で、「あまり」（9.3%）「まったく」（1.3%）の不必要派は1割程。

年齢別で見てもいずれも必要派が6割前後をしめるが、若い人ほどその割合は高い。

未既婚では“未婚”の方により必要と考える人が多くなっている。なお、職業別で“主婦専業”のみは「まったく」（2.0%）「あまり必要ない」（19.6%）との不必要派が2割をこえている。

3. 半数強は『セクシーだ』といわれたら『うれしい』

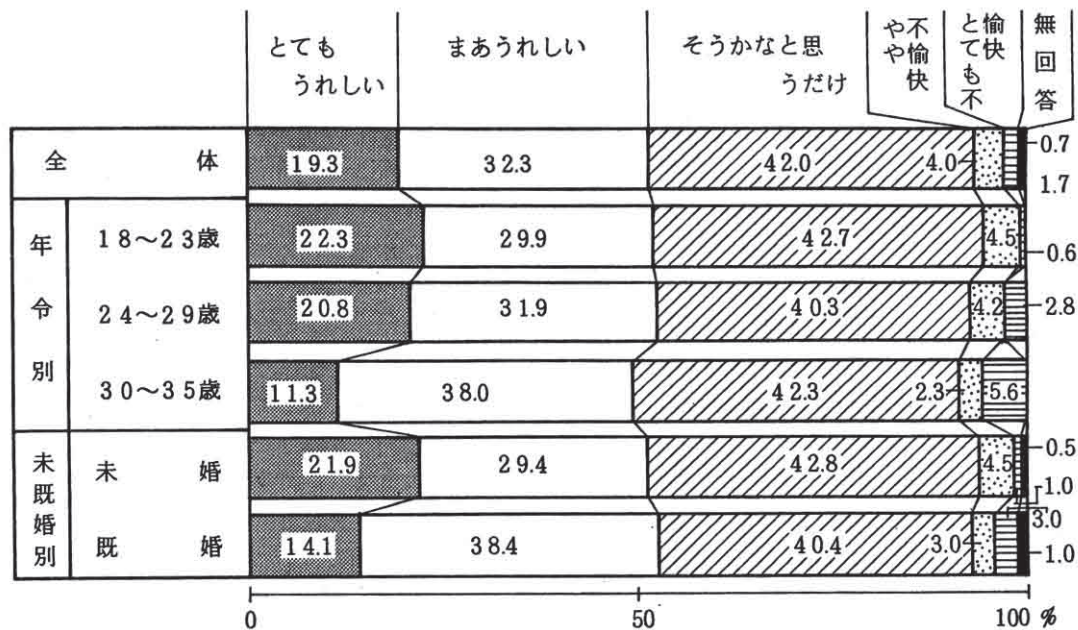


図7-「セクシーだ」といわれたら

もしも、『セクシーだ』といわれたら、女性はどう感じるのだろうか。「とてもうれしい」が19.3%、「まあうれしい」が32.3%で、半数強が素直にうれしく思うと答えている。残りも42.0%が「そうかなと思うだけ」で、「とても不愉快」（1.7%）、「やや不愉快」（4.0%）という人はごく少数。これだけよろこばれるのだから『セクシー』をもっとほめ言葉に使うべきだろう。

年齢別に見てもあまり変わらないが“30～35歳”になるとうれしさの度合いがちょっと落ちる。未既婚別でも“未婚”の方が「とてもうれしい」（21.9%）と感じることが多い。前項同様『セクシー』を肯定的なものとしてとらえる感覚は若い人ほど高いようだ。

4. 『セクシーだ』といわれたことがあるのは、半数弱

(1) いわれた経験

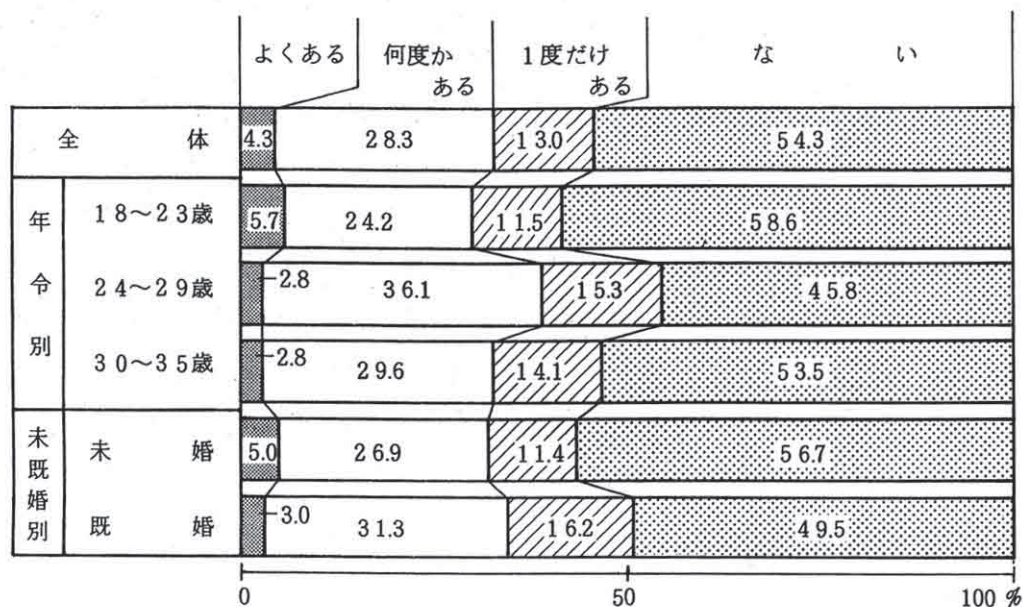


図8-「セクシーだ」といわれた経験

では、実際に『セクシーだ』といわれたことがある人は、どれくらいいるのだろうか。ここでは、ほぼ半々で、「ない」が54.3%、「ある」人でも「よくある」は4.3%、「何度かある」が28.3%、「1度だけある」人は、13.0%。年齢別で、“18～23歳”はいわれたことのある人がやや少ない。

『セクシー』=「大人の女性」ととらえていた人も多かったから、そういわれるにはまだ若いということだろうか。“24～29歳”になると、「ある」人が半数をこえる。“30～35歳”ではまた、「ある」がやや少なくなっているが、セクシーに対する意識セクシーという言葉への接触度の境目が、30歳前後の世代にありそうだ。

未既婚別では、さすがに“既婚”の方にいわれたことの「ある」人が多い。セクシーといわれたら“うれしい”人では「ある」が61.9%に達しているのに“不愉快”では11.8%しかいない。うれしいと思っているからいわれるのか、いわれてうれしかったということなのか。

(2) いった相手

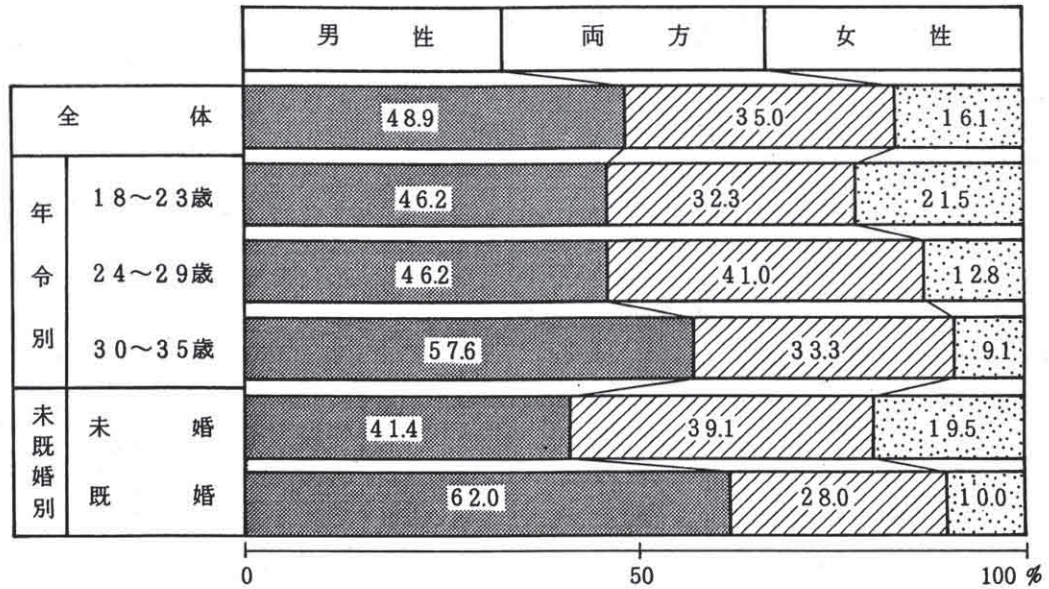


図9-「セクシーだ」といった人

『セクシーだ』といった人はやはり「男性」が多く、83.9%が「男性」からいわれている。「女性」からいわれた人は51.1%。

年齢別に見ると、年齢が上の人ほど「男性」にいわれている率が高く、特に“30～35歳”は「男性」のみが6割近くをしめる。“18～29歳”では、むしろ「男性」からいわれることの方が多いが「女性」からも半数強がいわれており、若い人は同性同志で、『セクシー』という評価をしていることが分る。

未既婚別では“未婚”の6割近くが「女性」にもいわれているのに対し、“既婚”は38.0%で、「男性」(62.0%)のみにいわれたことがあるという人が“未婚”に比べてかなり多い。

5. 自分のセクシーさは……

(1) 自分でも多少セクシーだと思っている人は4人に1人

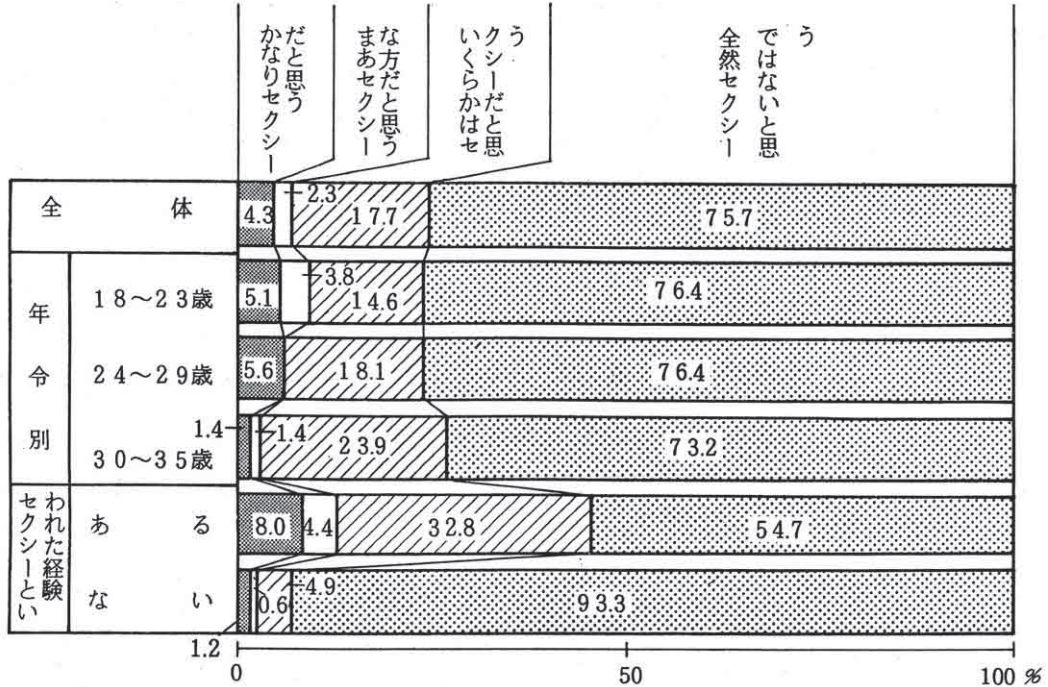


図10 - 自分のセクシー度

2人に1人近くは『セクシーだ』といわれたことがあるが、自分自身をセクシーだと思っている人は、4人に1人に止まる。

「かなりセクシーだと思う」は4.3%、「まあセクシーな方だと思う」が2.3%でセクシーとはいっても「いくらかはセクシーだと思う」（17.7%）程度の人が多い。

年齢別に見てもあまり変わらない。未婚別でもそれほど違いはないが“既婚”の方にセクシーだと思う（合わせて26.3%）人が若干多い。

セクシーといわれた経験の有無別ではかなり違いがある。

“ある”では、半数近くが多少は自分でもセクシーだと思っているのに対し、“ない”場合は、6.7%のみ、「全然セクシーではないと思う」が93.3%をしめる。

(2) セクシーなのは「ちょっとしたしぐさ」

では具体的にどんなところがセクシーなのか、自由に記入してもらった。

主なものとしては、

「ちょっとしたしぐさ（異性に対して）」（5名）

「湯あがり」 (4名)

「おしり」 (2名)

「衿元を広く開けた服を着た時などの髪の毛をいじるしぐさ」 (2名)

「その時々表わされる態度とか、表現のしかた」 (2名)

などがある。

大きく分けると、「雰囲気・表情」「服装」「性格」「肉体的条件」などになるが、多くは自分で意識しているというより人にそういわれたから、多分そうなのだろうと受けとっているものようだ。

また、「大人っぽいクールなところ」

「冷めたいような感じのところ」

「落ちついて話すときの言葉づかいや表情・目など」

もセクシーさにとらえられている。

6. 『セクシー』という言葉を目にする機会

(1) 近ごろ『セクシー』という言葉をよく目にする

近ごろ『セクシー』という言葉を目にする機会が「増えたと思う」人は64.0%で、「増えていないと思う」(33.0%)人をかなり上まわる。

年齢別で見てもいずれも60~70%が「増えたと思う」と答えているが、年齢が上の人ほどその割合は幾分高い。

未婚別では“既婚”(66.7%)の方がやや高い。

セクシーさの必要度別、セクシーといわれた経験の有無別などで見るといずれも肯定的、接触度の高い人の方が「増えたと思う」割合は高くなっている。

図11-「セクシー」という言葉を耳にする機会

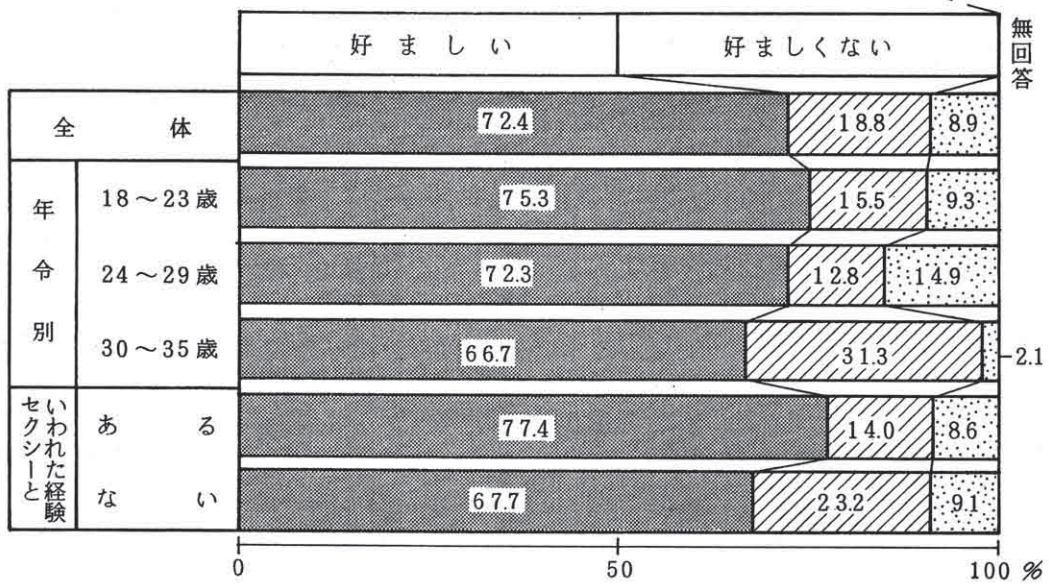
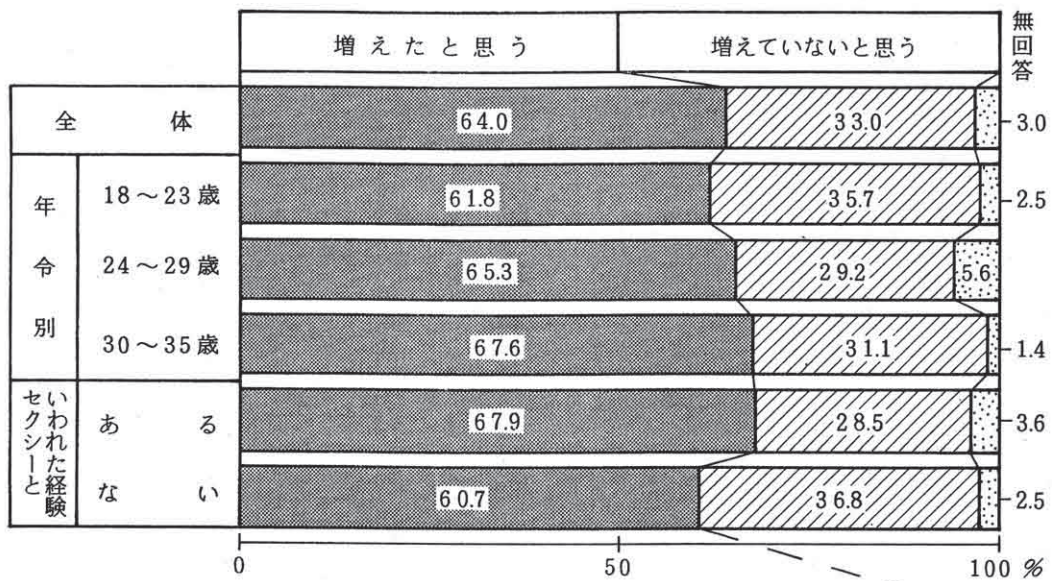


図12-「セクシー」という言葉を耳にすることが増えたことに対する好悪

(2) 増えたのは「好ましい」(72.4%)こと。

近ごろ『セクシー』という言葉を耳にすることが「増えたと思う」人に、それは好ましいことだと思うかと聞いたところ72.4%が「好ましい」と答えた。「好ましくない」は18.8%。

年齢別では“30～35歳”に「好ましくない」(31.3%)がやや多い。

未婚別では“未婚”の方がより「好ましい」（73.8%）と感じている。また『セクシー』に肯定的な人、言われたことがある人は当然ながら「好ましい」と感じている割合が高い。

7. 『セクシーな女性』の条件……1に「表情のある目」（43.7%）

『セクシーな女性』とは、どんな感じの人、どんなものを備えた人かを見ると、

1. 表情のある目 （43.7%）
2. 細いウェスト （43.3%）
3. 上ったヒップ （35.7%）
4. 白いうなじ （35.3%）
5. 長い髪 （34.0%）

と肉体条件に関するものが、上位をしめた。

形として見えるものの方が共通の条件になりやすいのかもしれないが、内面的なものとして、「知性」（30.3%）、「健康的」（25.0%）、「やさしさ」（23.3%）、「存在感がある」（23.3%）をあげる人もかなり多い。

全般に適度にシェイプアップされたしなやかな体で、健康で生き生きとした女性がイメージされているようで、「おちょぼ口」（0.7%）や「柳腰」（6.3%）あるいは「意地」（2.3%）といった古典的な粋な女は現代のセクシーさとは結びついていない。

年齢別では“18～23歳”“24～29歳”はともに「表情のある目」がトップだが、“30～35歳”では、「上ったヒップ」（39.4

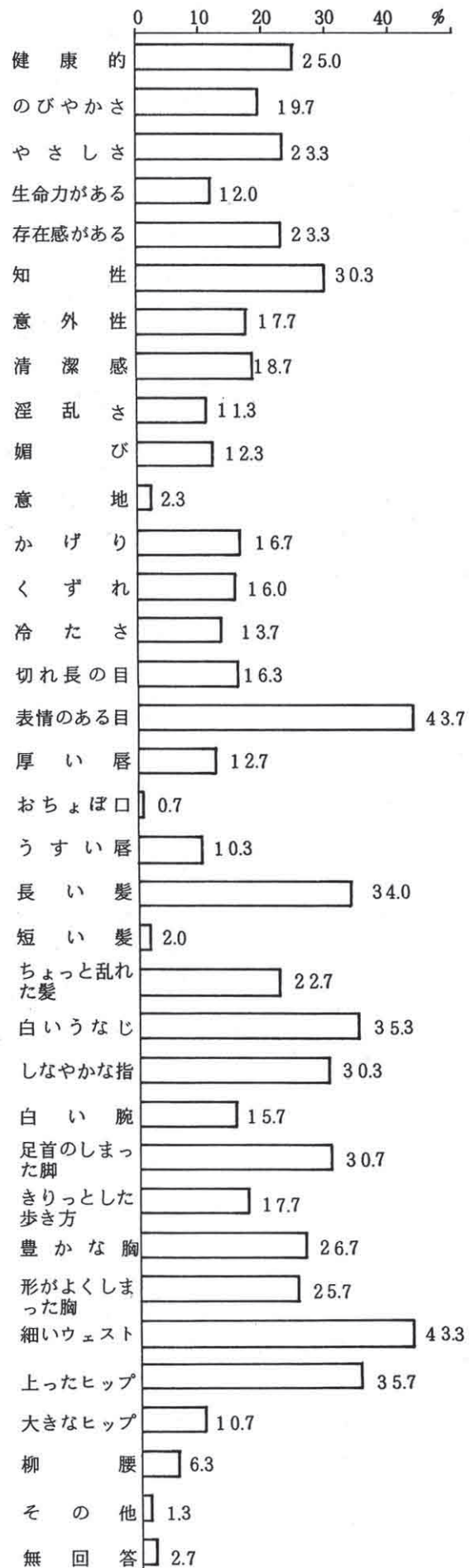


図13 - セクシーな女性の条件

%)、「細いウェスト」(35.2%)、「長い髪」(35.2%)をあげる人が多い。“24～29歳”は「表情のある目」(55.6%)が特に高率な他に、「知性」(36.1%)、「存在感がある」(30.6%)も他グループより高い。

若い人ほど高率なのは「かげり」「冷たさ」「しなやかな指」「足首のしまった脚」など。反対に年齢が上になるほど高いのは、「意外性」「くずれ」。

なお、セクシーな要素が必要か否かの別で見るとそれぞれセクシーのとらえ方がかなり違っていることがわかる。差の大きいものは次の通り。

セクシーな要素が……

	<必要だと思う人>	>	<必要ないと思う人>
知性	36.6%	>	21.9%
意外性	17.8%	<	28.1%
清潔感	24.1%	>	6.3%
くずれ	13.1%	<	31.3%
長い髪	38.7%	>	21.9%
ちょっと乱れた髪	22.0%	<	31.3%
白い腕	16.8%	<	25.0%
きりっとした歩き方	19.4%	>	9.4%
細いウェスト	47.1%	>	28.1%
大きなヒップ	8.9%	<	25.0%

8. 「軽やかで行動的、力まないで現代を泳いでいく」(31.7%) のがセクシー

生き方から見ると、「軽やかで行動的、力まないで現代を泳いでいく女性」(31.7%) が最もセクシーという回答がトップになった。

次いでは、「自分の好きな事、好きなもののためにひたむきに生きる女性」(26.7%) が高く、反対にセクシーさと遠いのは「日々の生活に満足して、安住している女性」(2.7%)。軽やかにしろ、ひたむきにしろ、自分の価値観にしたがって行動する女性がセクシーということになりそうだ。

年齢別で、“18~23歳”は特に「軽やかで行動的、力まないで現代を泳いでいく女性」

(37.6%)が高い。“24~29歳”では「自分の好きな事、好きなもののためにひたむきに生きる女性」(29.2%)の方が高率。

年齢が上になるほど多くなるのは、「相手によって染められる可愛い女」(“30~35歳”で21.1%)。

また、未既婚別で見ると“未婚”のトップは、「軽やかで行動的……」(33.8%)だが“既婚”では同項目と、「自分の好きな事、好きなもののためにひたむきに……」(27.3%)が同率である。

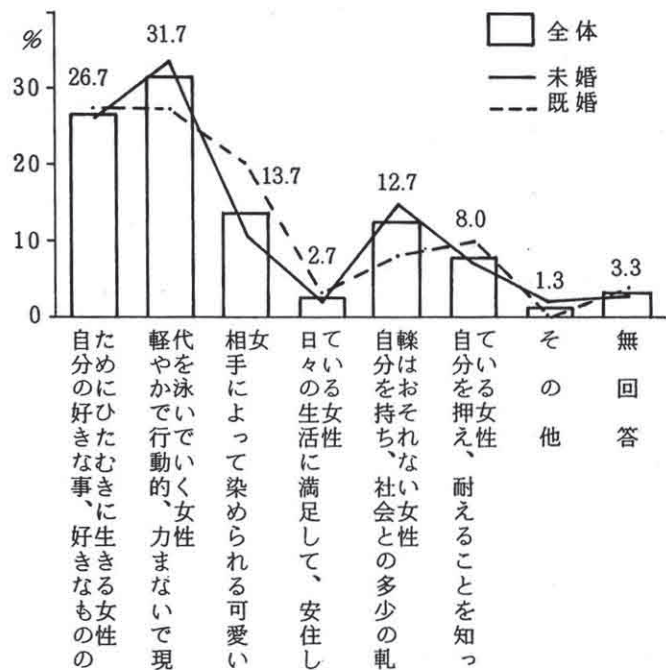


図14-セクシーな生き方

9. セクシーな装いは〈胸の大きくあいたイブニングドレス〉

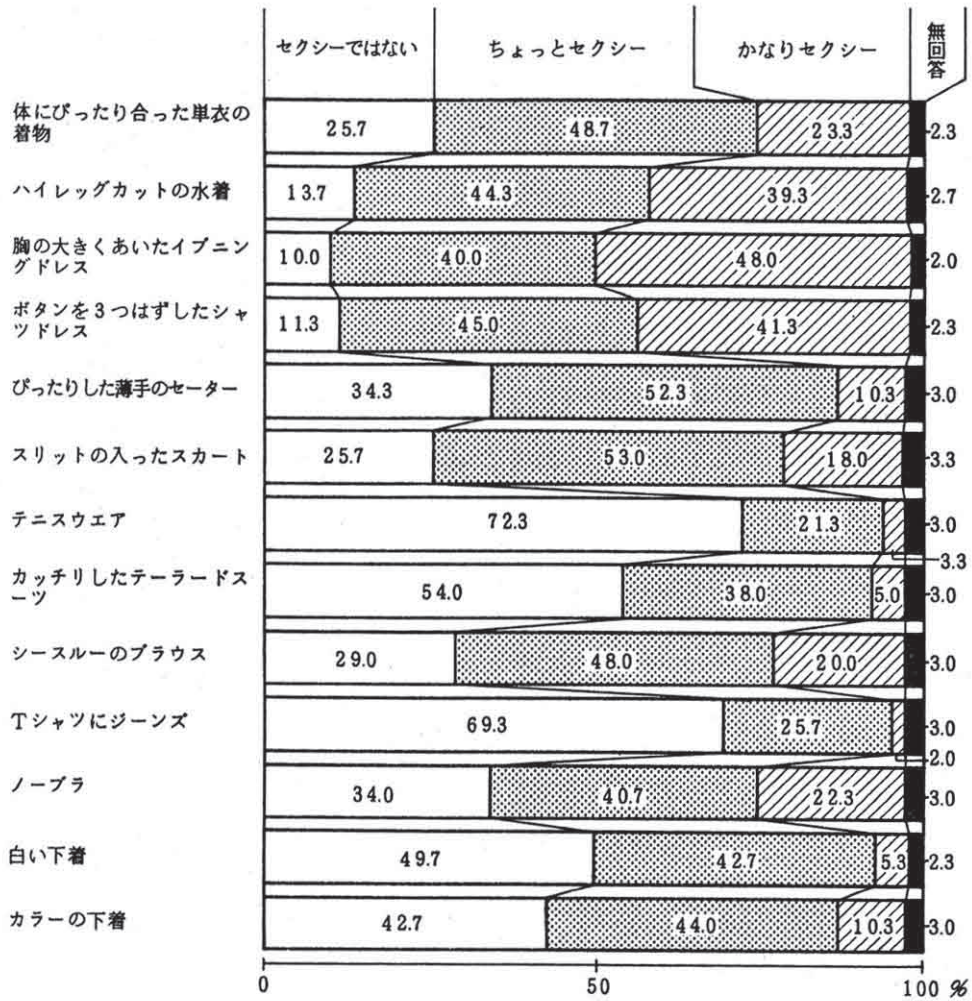


図15 - 服装のセクシー度

服装からいうと、どんな服装がセクシーだと思うか、いくつかの例についてそのセクシー度を答えてもらった。

最もセクシー度が高かったのは〈胸の大きくあいたイブニングドレス〉で、「かなりセクシー」と思う人が48.0%、「ちょっとセクシー」が40.0%と、合わせて9割近い。

次いで高いのは、〈ボタンを3つはずしたシャツドレス〉(「かなり」「ちょっと」合わせて86.3%)、そして〈ハイレグカットの水着〉(同83.6%)。胸や脚を大胆に見せた服装がセクシーということのようだ。しかし、脚を見せるといっても、〈テニスウェア〉は、「セクシーではない」が72.3%と否定されている。雑誌のグラビアなどを見ると、女性にとっての服装のセクシー度は男性の目から見た場合とはかなり異っているのではないと思われる。

〈体にぴったり合った単衣の着物〉、〈シースルーのブラウス〉〈ぴったりした薄手のセーター〉といった体の線を感じさせる服装は、やはり、セクシーだと見る人が多いも

の、胸や脚を大きく出したものほど高くはない。

〈ノーブラ〉もセクシーという人は多いが、「セクシーではない」が34.0%もいる。

セクシー度の低い服装は、先の〈テニスウェア〉を筆頭に、〈Tシャツにジーンズ〉、〈カッコリしたテーラードスーツ〉などで、スポーティなものは、セクシーではないというところのようだ。

〈白い下着〉や〈カラーの下着〉もセクシー度は低い。

年齢別に見ると“30~35歳”は〈胸の大きくあいたイブニングドレス〉を「かなりセクシー」(33.8%)と感じる人がやや少なく、むしろ〈胸のボタンを3つはずしたシャツドレス〉(「かなり……」43.7%)の方をセクシーと感じている。また、同年令層は、〈ノーブラ〉が「かなりセクシー」(35.2%)という人が多く、「セクシーではない」(11.3%)は、他グループの1/3しか見られない。それら以外の服装については年齢による違いがそれほどない。

10 下着もものによってはセクシー

セクシーさと下着は「あまり関係がない」と思う人は、25.0%で、4人に3人は、セクシーさと下着は関係があると見ている。

但し、「下着はどれもセクシー」(4.0%)とまでは考えていない。最も多いのは「デザインによってはセクシー」(65.7%)で、「色」(34.0%)「材質」(29.0%)はその後に来る。

年齢別、未婚別で見てもそれほど大きな違いはないが、年齢が上になるほど、また“既婚”は“未婚”より「材質によってはセクシー」が多い。

また、セクシーといわれた経験の有無別で“ある”人の方が全般に、セクシーさと

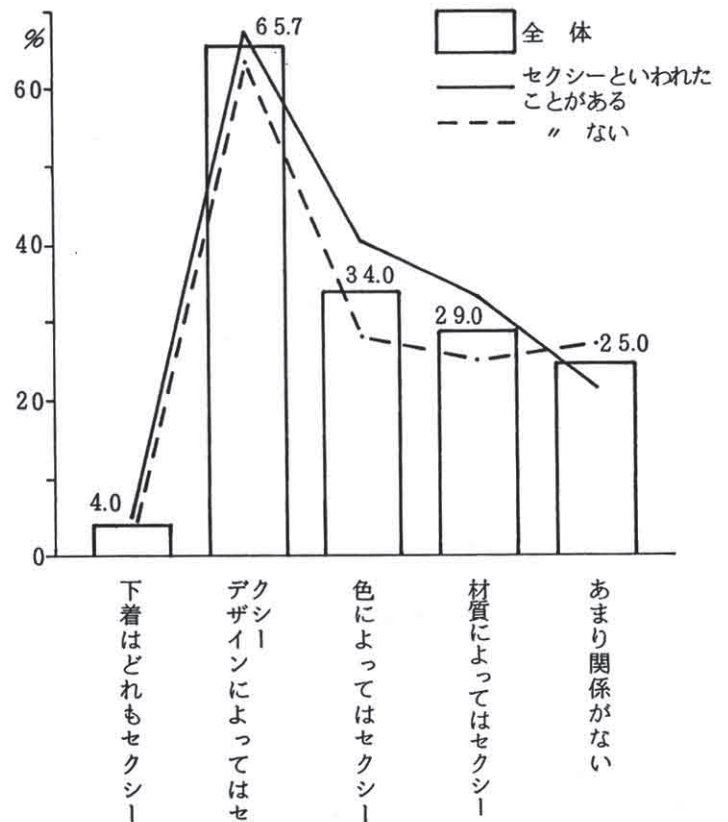


図16-セクシーさと下着の関係

下着は関係ありと見ている人が多く、特に「色によってはセクシー」「材質によってはセ

クシー」の項目で、“ない”人との差が大きくなっている。

1.1 持っているセクシーな下着

(1) セクシーだと思う下着を持っているのは4人に1人

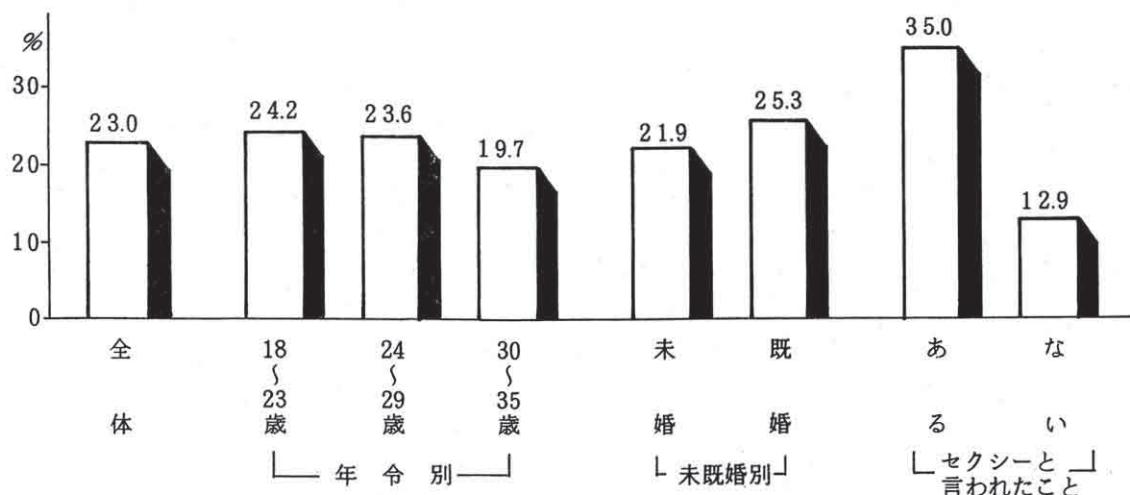


図17-セクシーだと思う下着を持っている人

セクシーだと思う下着を「持っている」人は“全体”の23.0%。ほぼ4人に1人ということになる。

年齢別では、若い人の方が幾分多いが、未婚別では“既婚”(25.3%)の方がやや多い。

セクシーといわれた経験の“ある”(35.0%)人、セクシーといわれたら“うれしい”(30.3%)人では、所有率が30%をこえている。

表5-持っているセクシーな下着

(2) セクシーな下着はエレガントなもの

(主なもの)

持っているセクシーな下着を具体的にあげてもらおうと「ショーツ」「スリップ」「ブラジャー」「ペチコート」「キャミソール」と種類は様々。ただ、レースが沢山ついたもの、フリルのついたもの、あるいはシースルーのものが多い。色では黒。

若い人はどちらかという装飾性の強いものをセクシーな下着と答えているのに対し、年齢が上になると、シースルーの下着をあげ

	18歳～23歳	24歳～29歳	30歳～35歳	計
○レースが沢山ついた下着	2	3	1	6
○ショーツ	2	1	3	6
○スリップ	3	2	1	6
○黒い下着	1	2		3
○ブラジャー	2		1	3
○スキャンティ	1	1		2
○シースルーのもの		1	1	2
○シースルーのスリップ			2	2
○フリルの沢山ついた下着	2			2
○上等のレース飾りのペチコート	1	1		2
○レースのついたキャミソール	2			2

る人が多くなっている。“18～23歳”では「ポパイとオリーブのマンガのパンツ」「ミッキーマウス」などをあげる人もおり、セクシーな下着をかなり巾広くとらえている。

(3) セクシーな下着は、「なんとなく衝動買い」(37.7%)

セクシーな下着を入手したきっかけは、「なんとなく衝動買い」(37.7%)が最も多い。次いで、「プレゼントされて」(27.5%)。

ここでは未既婚別による違いが大きく、“既婚”の多くは「なんとなく衝動買い」(56.0%)なのに対し、“未婚”は「プレゼントされて」(31.8%)がトップ。そして、「なんとなく衝動買い」(27.3%)、「大人っぽく装ってみたい」(25.0%)とバラエティにとんでいる。

年齢別では“18～23歳”に「大人っぽく装ってみたい」(28.9%)、“24～29歳”に「プレゼントされて」(35.3%)が特に多いが目立つ。

(4) 「たまにしか身につけない」(39.1%)セクシーな下着

日頃のセクシーな下着を身につける頻度を聞いたところ、「よく身につける」人は、持っている人の15.9%に止まり、「時々は身につける」(31.9%)、「たまにしか身につけない」(39.1%)

程度の人ほとんど。「まったく身につけたことがない」人も13.0%いる。

年齢別では若い人の方、未既婚別では“未婚”の人の方が若干身につけることが多いようだ。

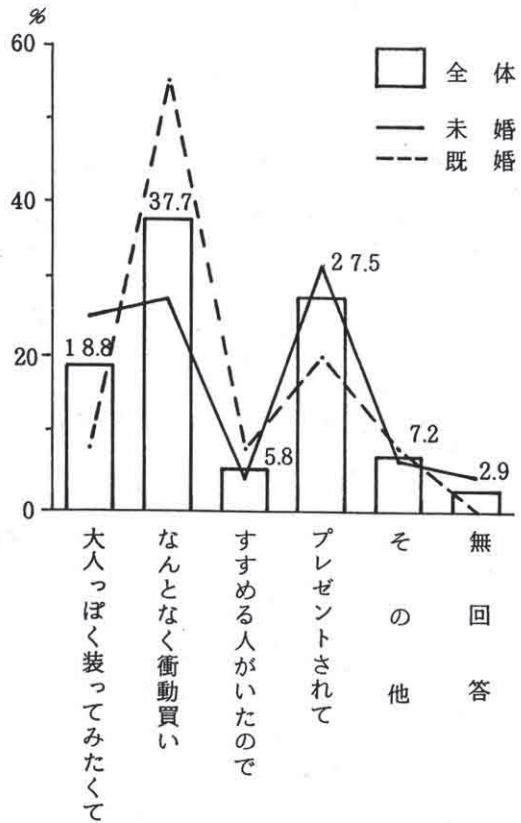
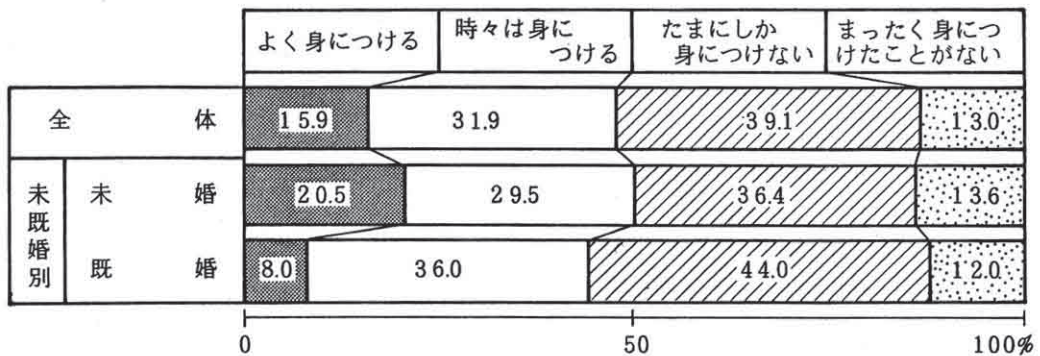


図18 - セクシーな下着を入手したきっかけ

図19 - セクシーな下着を身につける頻度



Ⅲ カラーと下着

1 色のイメージ……可愛いのは「ピンク」(77.7%)、冒険的なのは「黒」(44.3%)

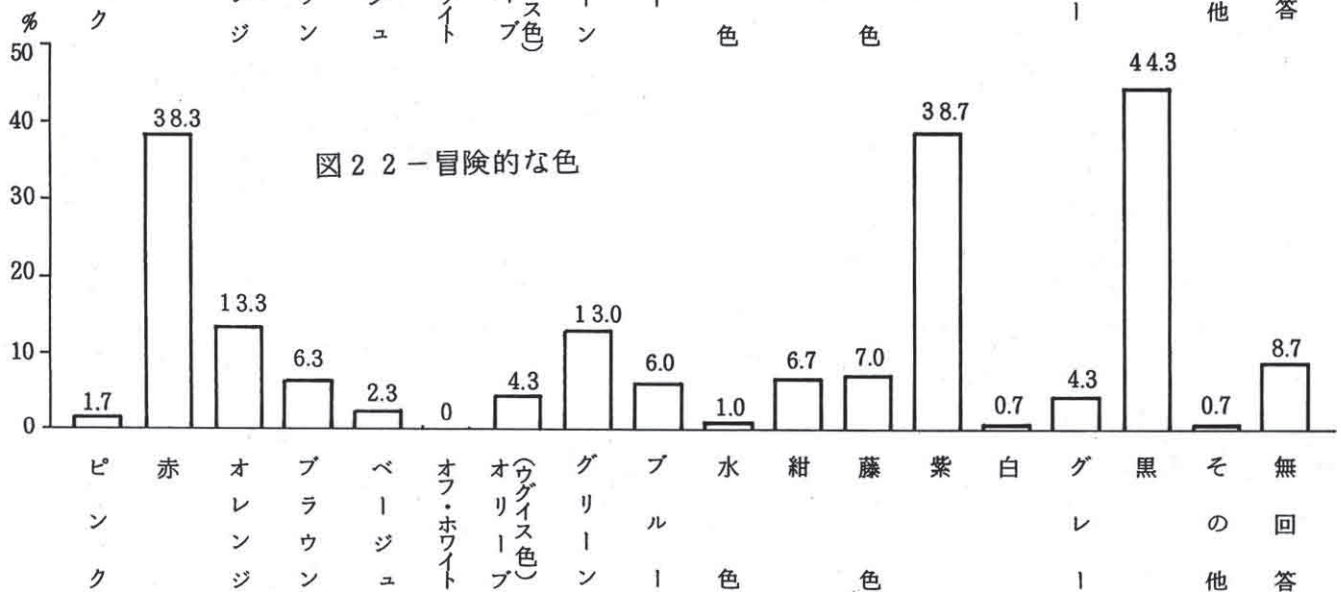
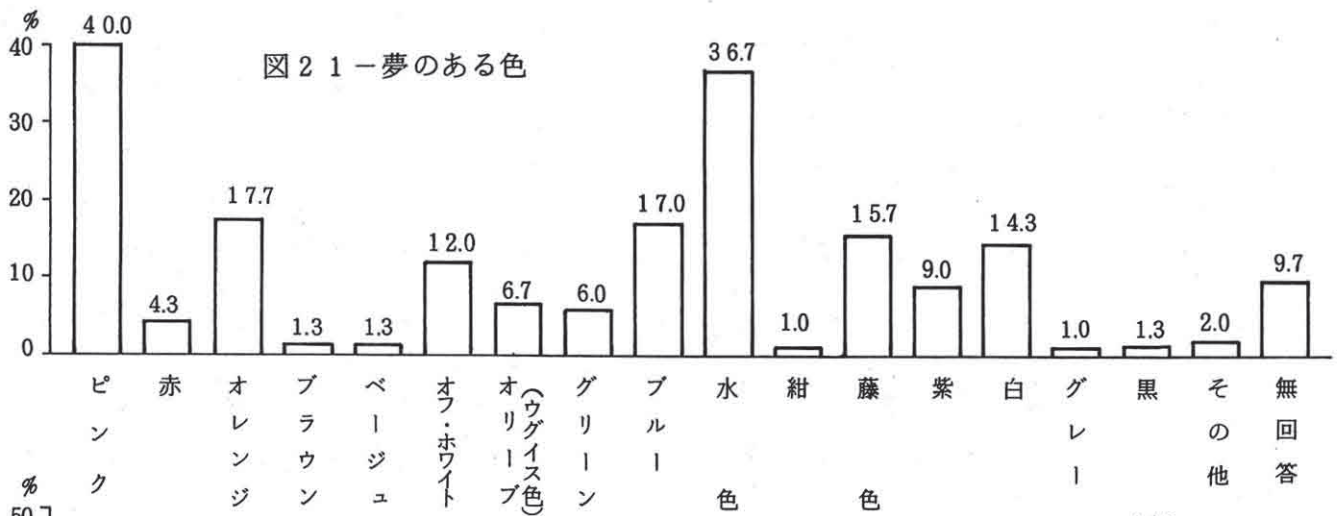
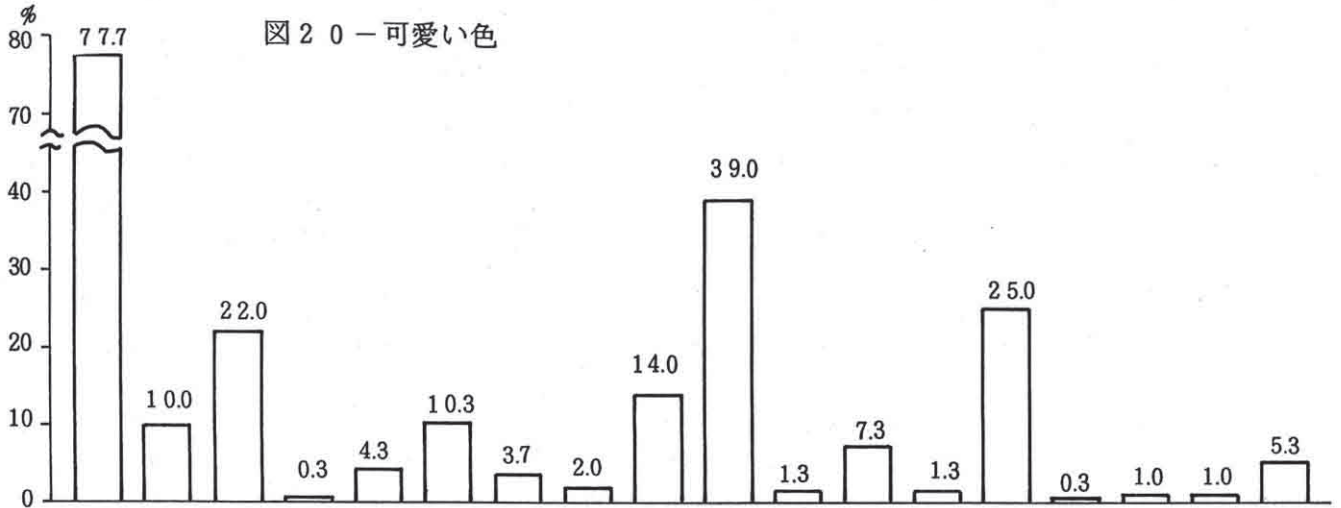
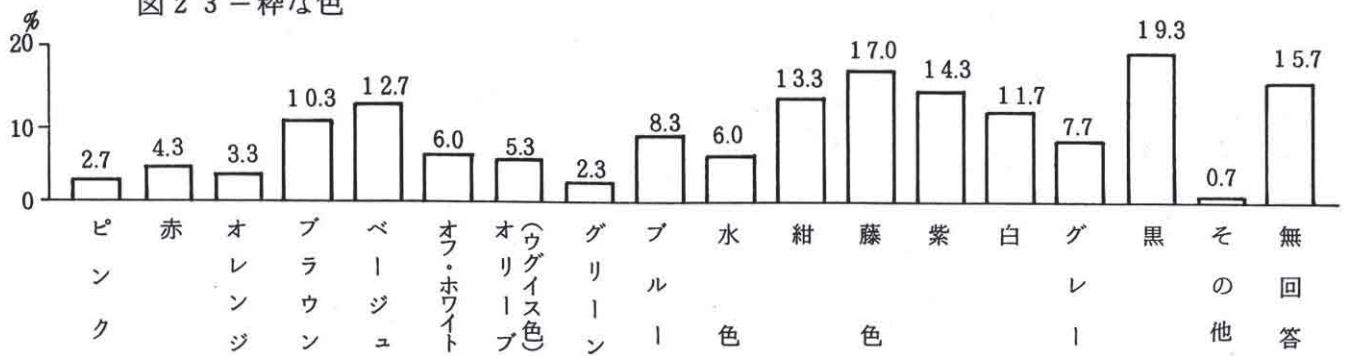


図 2 3 - 粋な色



各種のカラーはどんなイメージを持たれているのか。各イメージに合う色をいくつでも選んでもらった。

まず、〈可愛いのは……〉

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | ピンク | 77.7% |
| 2 | 水色 | 39.0% |
| 3 | 白 | 25.0% |

と、パステルカラーが中心。ベスト3の他には「オレンジ」(22.0%)も高い。年齢別では“18~23歳”で「ピンク」(86.0%)が特は高く、「水色」(47.8%)、「白」(29.3%)も他年齢層より高い。年齢が上になると、可愛い色という明確なイメージがなくなるのか、全般に低率で、若干増えてくるのは、「ベージュ」「オリブ(ウグイス色)」など。

〈夢のある色は……〉やはり

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | ピンク | 40.0% |
| 2 | 水色 | 36.7% |

が中心。2色以外では、「オレンジ」(17.7%)、「ブルー」(17.0%)、「藤色」(15.7%)、「白」(14.3%)が並んでいる。

ここでも、若い人ほど、「ピンク」「水色」そして「オレンジ」「白」が高い。

“30~35歳”では、「ピンク」「水色」が3割弱に止まり、「紫」(23.9%)、「藤色」(18.3%)、「ブルー」(18.3%)などが増えてくる。

〈冒険的な色は……〉

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 黒 | 44.3% |
| 2 | 紫 | 38.7% |
| 3 | 赤 | 38.3% |

がベスト3で、これら以外の色をあげる人は少ない。〈可愛い色〉や〈夢のある色〉に比べるとはっきりした色が中心になっている。“18～23歳”は「赤」(47.8%)、「紫」(46.5%)が高く、“24～29歳”は「黒」(51.4%)に集中している。同年令層は「グリーン」(18.1%)もやや高い。“30～35歳”は、やはり全般に低率。

〈粋な色〉になるとかなり分散気味で、

1	黒	19.3%
2	藤色	17.0%

以下、「紫」(14.3%)、「紺」(13.3%)、「ベージュ」(12.7%)、「白」(11.7%)、「ブラウン」(10.3%)などが少差で並んでいる。粋というと和服に使われる色が多くなるようだ。ここでは「無回答」も15.7%と多い。

“18～23歳”は「藤色」(17.8%)、「白」(16.6%)、「紺」(14.0%)、「ベージュ」(14.0%)の方が「黒」(13.4%)よりも高率。

“24～29歳”は「黒」(29.2%)が特に高く、「紫」(20.8%)がそれに続く。“30～35歳”も「黒」(22.5%)、「紫」(21.1%)が中心だが、「無回答」が23.9%と多く、目立つ。

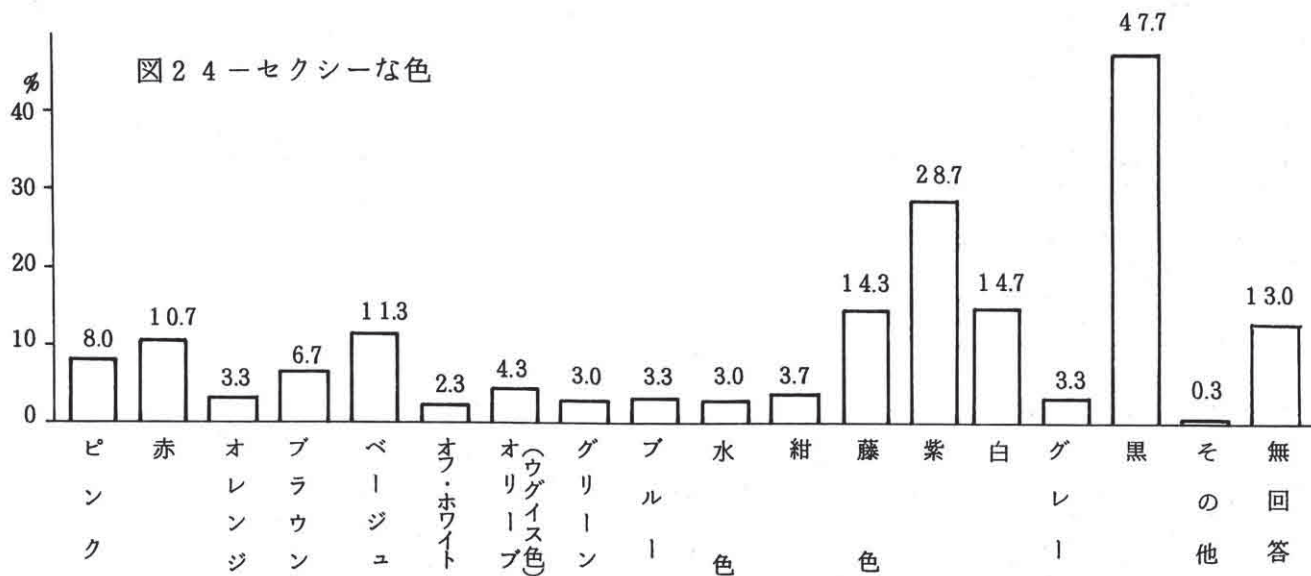
〈セクシーな色は……〉

1	黒	47.7%
2	紫	28.7%

が中心で、〈粋な色〉〈冒険的な色〉と共通している。これら以外では「白」(14.7%)、「藤色」(14.3%)、「ベージュ」(11.3%)、「赤」(10.7%)など。

“18～23歳”は「黒」(52.2%)、「紫」(31.2%)の他に、「赤」(15.9%)、「ベージュ」(15.9%)、「白」(15.3%)をあげる人も少なくない。

“24～29歳”は「黒」(55.6%)が特に高い。“30～35歳”になると、「黒」(29.6%)、「紫」(22.5%)が低くなり、「藤色」(19.7%)、「オリーブ(ウグイス色)」(12.7%)が他年令層より多くなる。また、ここでも、「無回答」(25.4%)が4人に1人強。



2. 下着のカラー

(1) 持っているのは、「白」(73.7%)より「ベージュ」(84.3%)の下着

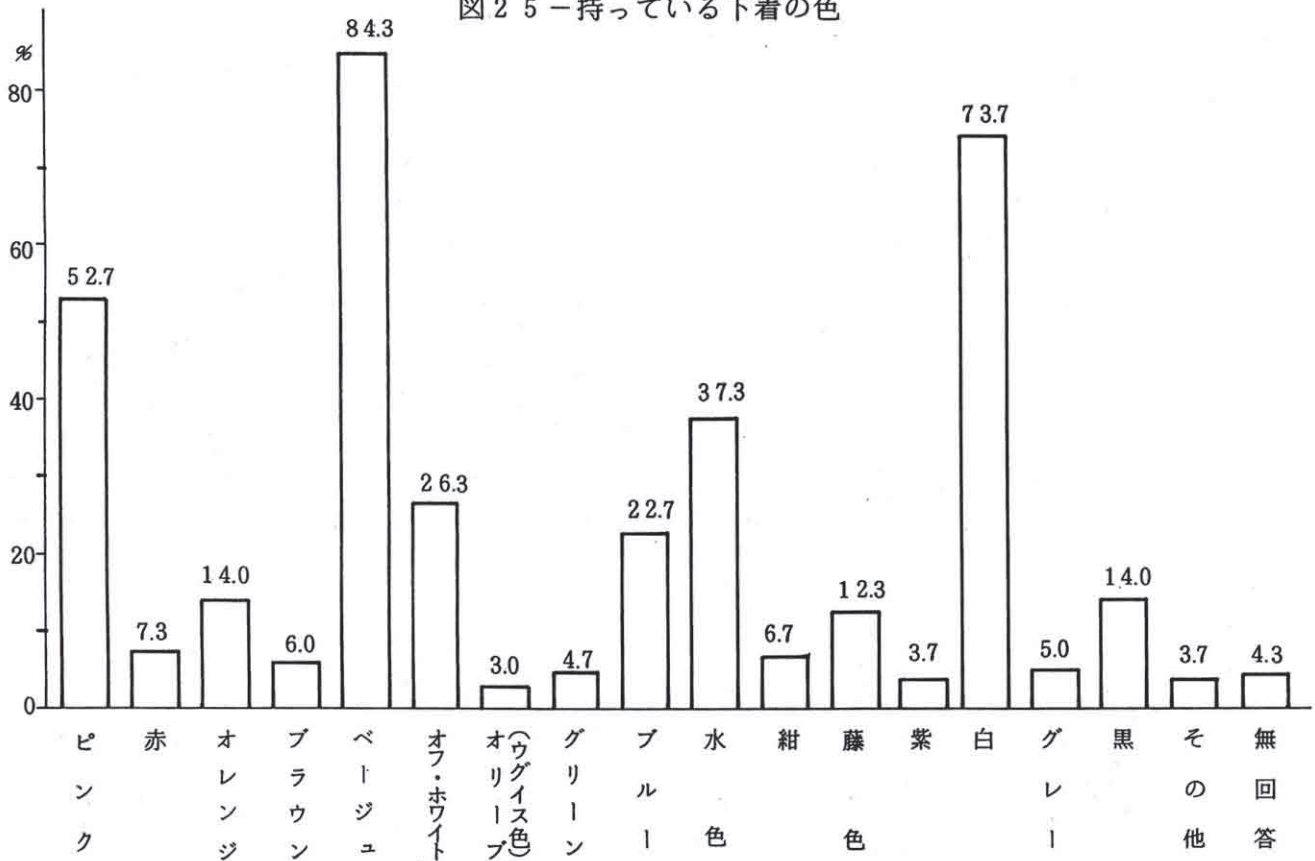
持っている下着の色は、「ベージュ」(84.3%)が「白」(73.7%)を押えて、最も高かった。この2色以外では、「ピンク」(52.7%)、「水色」(37.3%)、「オフ・ホワイト」(26.3%)、「ブルー」(22.7%)など。

“18~23歳”は「ベージュ」(82.2%)、「白」(79.6%)の他にも、「ピンク」(62.4%)をはじめカラフル。“30~35歳”になると「ベージュ」(85.9%)に集中する傾向が強くなり、カラフル度は下るが、「黒」(23.9%)は他年令層に比べかなり高い。

未既婚別でもほとんどの色は“未婚”の方で所有率が高いのに対し、「黒」は“既婚”(25.3%)の方が3倍近く多い。

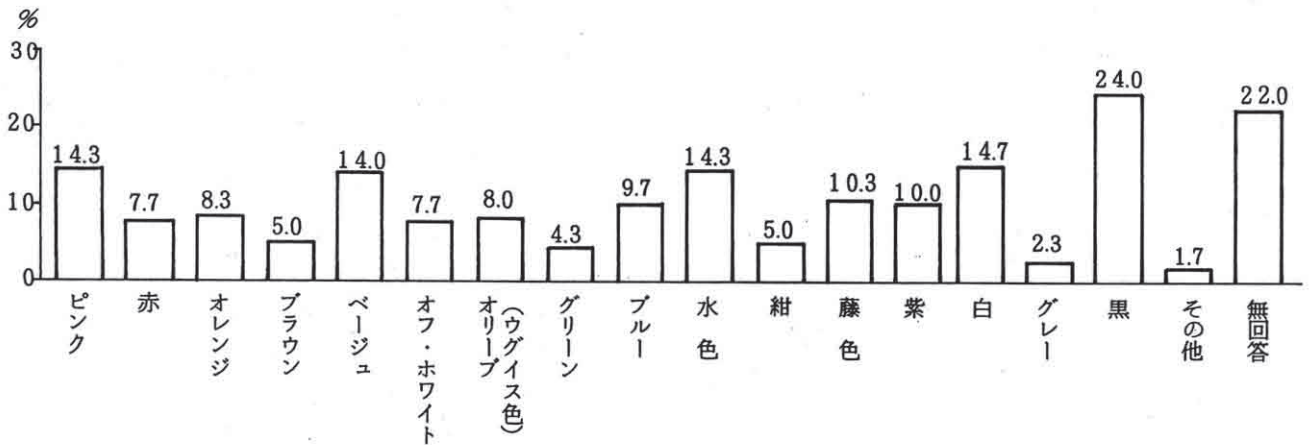
なお、セクシーな下着を“持っている”人は、「ベージュ」と「白」以外のカラーの所有率がいずれも“持っていない”人を上廻っている。

図 2 5 - 持っている下着の色



(2) 着てみたいのは、「黒」(24.0%)

図 2 6 - 着てみたい下着の色



着てみたい下着の色のトップは「黒」(24.0%)で、4人に1人が希望している。これ以外では、「白」(14.7%)、「ピンク」(14.3%)、「水色」(14.3%)、「ベージュ」(14.0%)が同程度で並んでおり、「白」「ベージュ」ほどでないにしても下着の色としては、すでにポピュラーなものが中心になっている。

その他の色についてはかなり分散している。

年齢別では“18～23歳”で「黒」（17.2%）よりも「水色」（19.1%）を着たい人の方が多く、「ピンク」（15.3%）も他年齢層より高率。

年齢が上になるほど「黒」が増え、“30～35歳”では32.4%。「ピンク」「水色」は減って、「オフ・ホワイト」（14.1%）、「紫」（14.1%）が増えてくる。

未既婚別で見ても、年齢別とほぼ同様で、“既婚”はより「黒」（33.3%）が高い。次いで、「ピンク」「ベージュ」「紫」（いずれも14.1%）。“未婚”は、「黒」（19.4%）、「水色」（16.4%）、「白」（15.9%）の順。

3. 半数強はカラーの下着をワードローブに「加えてみたい」

カラーの下着を自分のワードローブに「ぜひ加えたいと思う」人は12.3%、「加えたいと、かなり思う」が8.7%で、「いくらか加えたいと思う」（34.7%）人を合わせると加えてみたい人が半数強をしめる。「あまり思わない」は32.7%、「加えたいとまったく思わない」のは10.0%のみ。年齢別では、若い人ほど加えてみたいという意向が高く、“18～23歳”の「加えたいと思う」人は6割をこす。

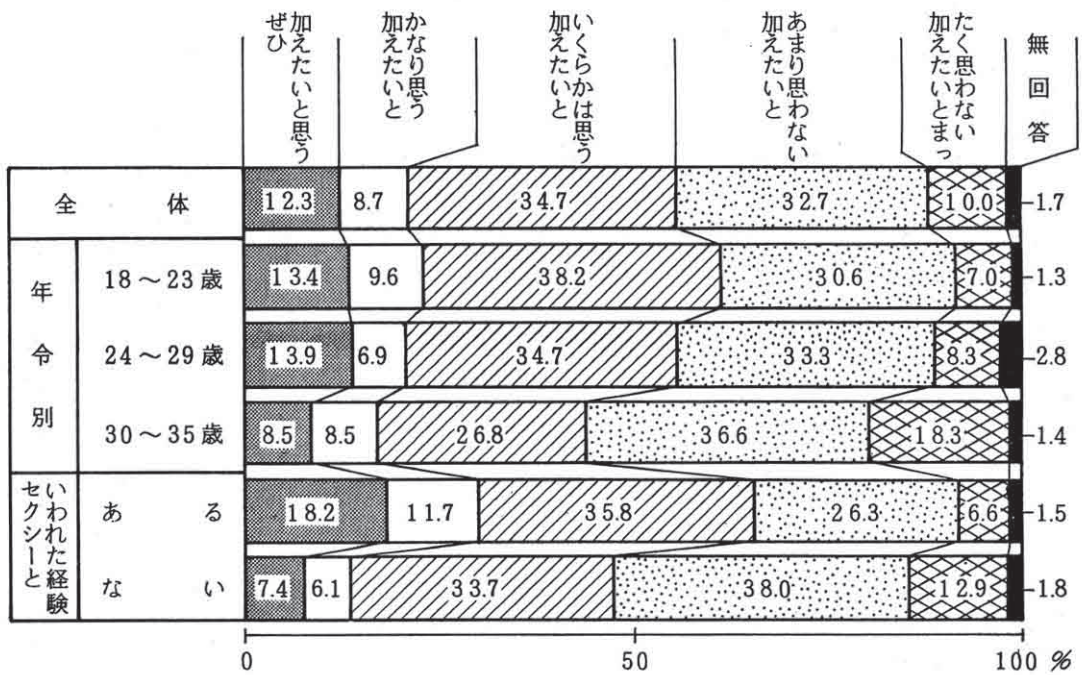


図27-カラーの下着の所有意向

「加えてみたい」と答えている。また、セクシーといわれたことの“ある”人は、より積極的で「ぜひ加えたいと思う」（18.2%）など、3人に2人が加えたいと答えている。

未既婚別では“未婚”の方が積極的である。

また、セクシーといわれたことの“ある”人は、より積極的で「ぜひ加えたいと思う」（18.2%）など、3人に2人が加えたいと答えている。

4. 印象に残っている下着シーン

映画やTVドラマの中で、下着姿が印象に残っているシーンを自由に記入してもらった。複数回答があったのは以下の通り。

- “風と共に去りぬ”のビビアン・リーがコルセットをしめるところ（4名）
- “エーゲ海に捧ぐ” （3名）
- “四季・奈津子” （3名）
- “潮騒” （3名）
- “エマニエル夫人” （2名）
- “殺しのドレス”のナンシー・アレン （2名）

“風と共に去りぬ”のコルセット・シーンは有名だが、以下は、下着より着ていないシーンの方が印象に残る様な映画。

“殺しのドレス”のナンシー・アレンの下着は黒だったが、この他にも「“キャバレー”の黒いガードル姿（ライザ・ミネリ）」、「“卒業”のアン・バンククロフトがダスティン・ホフマンを誘惑するところ」（これも黒いスリップだった）と黒い下着が印象に残っている人が多い。このへんがセクシー＝黒、ほしい下着の色＝黒という意識の下敷になっているのかも知れない。

また、ここでは女性の下着姿だけではなく、

- “サタデーナイトフィーバー”のジョン・トラボルタの着替えシーン
- “あいつと私”の三浦友和
- ブルース・リーがヌンチャクで相手を倒す時、衣類の下からみえる下着姿
- “思い出づくり”の柴田恭平

と男性の下着姿のシーンを思い浮かべている人もあった。

IV 現在、セクシーな人は

セクシーだと思う男性・女性を有名人・タレントなどの中から各1名ずつあげてもらった。

まず、男性は……

トップが「沢田研二」で2位との差はかなり大きい。2位は「郷ひろみ」、3位「藤竜也」。彼らは、最近、雑誌などでセクシーな男性としてとりあげられることも多い。

4位の「ロッド・スチュワート」もCMでセクシーさを強調している。

男性的というより、どちらかという両性的なタイプが上位に顔を出しているのは、現代の風潮を感じさせる。

セクシーな女性の方は、男性に比べかなり票が割れている。

1位は「松坂慶子」で、黒い網タイツ姿の印象がよほど強烈だったのだろうか。

2位「ファラ・フォーセット」、3位「多岐川裕美」とテレビドラマの俳優が多く、歌手中心の男性とはちょっと異っている。

5位に「マリリン・モンロー」が入っているが実際に映画などを見ている人は少ないはず。男性の「クラーク・ゲーブル」同様、すっかり神話化しているのだろう。

こちらにも女性か男性か、「松原留美子」が顔を出している。

表6 -セクシーな男性ベスト9

1.	沢田研二	57名
2.	郷ひろみ	20 "
3.	藤竜也	11 "
4.	ロッド・スチュワート	10 "
5.	根津甚八	9 "
5.	アラン・ドロン	9 "
7.	西城秀樹	6 "
8.	ポール・ニューマン	5 "
9.	林隆三	3 "
"	アントニオ・猪木	3 "
"	甲斐よしひろ	3 "
"	クラーク・ゲーブル	3 "
"	ミック・ジャガー	3 "

表7 -セクシーな女性ベスト11

1.	松坂慶子	18名
2.	ファラ・フォーセット	13 "
3.	多岐川裕美	12 "
4.	桃井かおり	11 "
5.	マリリン・モンロー	10 "
6.	シェリル・ラッド	8 "
7.	山口百恵	6 "
7.	浅野ゆう子	6 "
7.	スーザン・アントン	6 "
7.	ブルック・シールズ	6 "
11.	中野良子	5 "
11.	夏木マリ	5 "
11.	佐藤友美	5 "